

# おどろき



2018. NO  
**123**

## 目次

- 12月定例会 ..... 2
- 研修報告 ..... 3～7
- 議会トピックス ..... 8
- 7人が一般質問 ..... 9～15
- 議会のうごき・軌跡 ..... 16



# 12月 定例会

## 各小中学校に防犯カメラ設置予算を可決 ～子ども達の安心な教育環境のために～



平成29年第4回定例会は、12月12日から15日までの4日間の日程で行われ、一般会計補正予算の専決処分の承認1件、平成29年度各会計補正予算6件、条例改正1件、人事案件1件、諮問1件、報告1件が上程され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり可決し、議員発議で提出された道路事業予算の総額確保等に関する意見書及び若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書2件についても原案のとおり可決した。なお、今回の一般質問には7人が登壇し、執行部の考えを質した。

### 条例改正等

錦町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
人事院勧告に伴い改正するもの

### 人事案件

錦町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
住所 錦町大字西2459番地  
氏名 深水 充

### 諮問

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて  
住所 錦町大字一武799番地  
氏名 赤川 龍美

### 報告

和解及び損害賠償額の決定について  
公務中の交通事故により、相手自動車を破損させたため賠償するもの

# 上京要望及び町村議会議長全国大会報告

平成29年11月21日、県選出国會議員、議員会館各事務所を訪問し、球磨郡町村議長会にて、取りまとめた要望書を提示する。要望書の内容については、

- 1、国営川辺川土地改良事業の推進について
- 2、農業農村整備事業等の促進について
- 3、林業振興施策の拡充強化について
- 4、野生鳥獣被害対策について
- 5、家畜伝染病防疫体制整備について
- 6、地域資源を活用した地域活性化に対する支援について
- 7、国民健康保険税(料)の連帯納付義務に関する支援について
- 8、教育支援活動等に対する予算及び、支援員の確保に関する支援について
- 9、企業誘致の推進に関する支援について
- 10、震からの復旧、復興と大規模災害対策の確立
- 11、地方創生の更なる推進
- 12、分権型社会の実現と道州制導入反対
- 13、町村財政の強化
- 14、議会の機能の強化及び、議員のなり手確保
- 15、農林水産業振興対策の強化
- 16、中小企業振興対策の強化
- 17、環境保全対策の推進
- 18、情報化施策の推進
- 19、地域保健医療の向上及び、医療保険制度の改善
- 20、少子化対策の推進及び社会福祉対策の強化
- 21、教育、文化の振興
- 22、交通及び生活環境の整備促進
- 23、消防体制の強化
- 24、国土政策の推進
- 25、基地対策の推進
- 26、過疎、豪雪及び、離島等の特定地域の振興

採択。  
今回の上京で、特に地元選出国會議員との要望活動については、前向きな姿勢で対応してもらい、有意義で非常に効果があった。国政の近況報告も詳細に示された。特に金子代議士、松村代議士には、今後、益々の活躍に期待したい。

錦町議会議長 市田 昇



## 町村議会議長全国大会

- 11月22日  
場所 NHKホールにて開催  
大会決議内容
- 1、東日本大震災及び、熊本地



# 常任委員会研修報告

## 更なる自主財源確保に向けて

### 総務建設常任委員会

#### 1 研修参加者

委員長 土肥 俊一  
副委員長 藤川 喜一  
委員 市田 昇  
委員 高田 孝徳  
委員 守永慶次郎  
委員 岡田 武志

#### 随行者

企画観光課長 深水 英雄  
企画観光課企画情報調整係長 高山 拓二

#### 2 研修期日及び目的

- ①平成29年11月9日(木)  
宮崎県小林市  
公園の活用について  
宮崎県東諸県郡国富町  
地方創生に係る事業の取り組みについて  
②平成29年11月10日(金)

宮崎県都市  
ふるさと納税の取り組みについて

#### 研修目的

1日目は、午前中小林市の「のじりこびあ」を視察し、公園の活用状況を研修するため。  
午後は、地方創生に係る事業を積極的に取り組まれている国富町に伺い、本町の取り組みの参考とするため。

2日目は、ふるさと納税で2年間全国1位の実績を挙げられている都城市の取り組みについて実践を見聞するため、以上を目的として2日間の研修を行った。

#### 3 研修内容

- ①宮崎県小林市  
公園の活用について  
説明者 ハーメックのじり株式会社代表取締役社長 深瀬 祐一氏  
ハーメックのじり株式会社は、

小林市等が出資した第3セクターの会社で、平成10年8月に設立された。「のじりこびあ」のほか、道の駅「ゆーぱるのじり」も運営されている。

のじりこびあは、国のふるさとづくり特別対策事業を活用して平成4年4月に開設された施設で、様々な遊具のある広場のほか、物産館やレストラン、野外ステーションやプールもあり家族連れ等にぎわっている。

緑地広場・野外ステーションについては、①遠足(保育園23園、小学校19校、中学校2校、その他8団体の4,672人)②イベント(ウォーキング大会、桜まつり、グランドゴルフ大会、のじり湖祭、メロンマンゴルフフェア)③その他(バンドやカラオケ練習)で利用されていた。

レストランや物産販売における地元との連携については、出荷組合登録者が180人で、そのうち常時出荷されるのは、30〜50人といったところで、高齢化が進ん

でいるとのことだった。また、メロンマンゴルフフェアでも出品されている。

(提案) 錦町の道の駅に野外ステーションをという要望もあり、今後検討する上で参考にしたい。

#### ②宮崎県東諸県郡国富町

地方創生に係る事業の取り組みについて  
出席者 議会議員 水元 正満氏  
議会事務局 垣内 圭氏  
説明者 企画政策課 課長 瀬尾 孝徳氏  
課長補佐 矢野 一弘氏  
課長補佐 重山 康浩氏  
主 査 伊藤 孝氏

国富町は、宮崎市の北西に隣接した田園都市で、面積130.71km<sup>2</sup>、人口は平成27年国勢調査によると19,606人(男9,100人 女10,506人)である。宮崎市まで車で20分の通勤圏にあり好立地だが、人口

減少は深刻で平成22年国勢調査から人口マイナス62%、合計特殊出生率は1.47と県内最下位とのことだった。

そのような状況もあり、地方創生に係る事業については、地方創生サイト「えがおくとみ」を立ち上げられるなど積極的に取り組まれている。空き家等対策については、いち早く空き家バンク制度を創設され、当初は町独自に運用されていたが、宅建業協会と連携することで、対応も円滑に進むようになり、既に成約済の実績もあるとのことだった。

移住定住に対する基本的考え方としては、地域コミュニティ形成に配慮するため、まず、移住促進より定住促進に重きを置いて事業を進められており、宮崎市と広域連携し、宮崎市移住センターの移住コンシェルジュから相談を受けることができる。

また、平成31年度スマートインターチェンジも完成予定とのこと、完成に向け企業誘致に具



ふるさと納税全国1位(都城市)

体的な動きの有無を伺ったところ、町内は市街化調整区域や農地など混在しており、企業進出においては難しい区域が多いとのことである。今後、国・県と協議しながら企業立地に努めていきたいとのことだった。

(提案) 観光振興の取り組み「国富フィールドミュージアム創生事業」は錦町において「山の中海軍基地・海軍ミュージ

アム」の開館に併せ風土、文化資源他産業、特産品等の開発に大いに参考になると考えられるので検討されたい。

#### ③宮崎県都城市

ふるさと納税の取り組みについて  
出席者 議会議員 荒神 稔氏  
議会事務局 水淵 一樹氏  
説明者 議会事務局 次長 藤崎 雄三氏

総合政策部総合政策課 副主幹 山崎 隆司氏  
都城市は、平成18年1月1日に山之口町、高城町、山田町、高崎町と1市4町で対等合併した。地勢は、宮崎県の南西部に位置し、北は小林市、東は宮崎市、西から南は鹿児島県に接した広大な面積(653.36km<sup>2</sup>)で、宮崎県の総面積の84%を占めている。人口は平成27年国勢調査によると165,029人(男77,521人 女87,508人)で、宮崎市に次ぐ県内第2位である。

ふるさと納税については、制度が始まった当初は、件数が20〜30件、寄付額も300万円程度で推移していたが、平成26年に市がPR戦略の見直しを行い、ふるさと納税制度もその一環で

見直し、日本一の肉と焼酎で売り出している。

平成26年には寄付額5億円、27年に42億円、28年は52億円の73億円と驚異的な実績を挙げられている。寄付単価は、1万円以上2万円未満が83%、2万円以上3万円未満が10%で、品目では、肉が78%、焼酎が13%という割合となっている。

事業効果としては、①寄付件数が数十万件に及び、また、マスコミ等でも取り上げられ市のPRにつながったこと②地場産業の活性化につながったこと③税収の増加④職員の意識改革を挙げられた。また、ふるさと納税制度は先行きが不透明な制度でもあり、事業者も制度のみに頼らない体制づくりのため、PR戦略や顧客満足度向上のための研修も実施されており、今後も継続していきたいとのことだった。

(提案) 錦町においても、これまで精力的に取り組んでいるが、更に全職員の知恵を活用し、自主財源確保に向かって強力に推進されたい。

# 後継者育成の先進地へ

## 厚生文教経済常任委員会

### 1 研修参加者

- 委員長 荒川 孝一
- 副委員長 柳瀬みどり
- 委員 金山 民幸
- 委員 久保田文男
- 委員 右田 宣之
- 委員 池田 秀晴
- 随行者

農林振興課・農政係長

山本 直樹

住民福祉課・子育て支援係長

東 貴志

兼環境係長

### 2 研修期間及び研修目的

①平成29年10月25日(水)

熊本県菊池市

菊池畜産クラスター協議会

・「JA菊池キャトルブリーディング

グステーション視察」

### 3 研修項目

①熊本県菊池市・菊池地域畜産

クラスター協議会

JA菊池キャトルブリーディング

グステーション

「畜産クラスター事業について」

県内肥育牛の40%を占める一大

肥育地帯であるが、肥育素牛を一

部他県に依存する状況であったた

め、平成8年から素牛供給減少

に対応として、繁殖基盤の育成に

・金子牧場視察(搾乳ロボット)

②平成29年10月25日(水)

佐賀県三養基郡基山町

基山町立図書館

・「図書館の環境について」

③平成29年10月26日(木)

佐賀県三養基郡みやき町

鳥栖・三養基西部環境施設組合

「ゴミ処理全般について」



基山町立図書館

※その後、クラスター事業によつて酪農経営されている「金子牧場」に伺い、導入された搾乳ロボットを視察した。

### ②基山町立図書館

佐賀県三養基郡基山町

「町立図書館のあり方について」

図書館が町を変えろという

キャッチで今年4月に新しく移

転建設された図書館である。広々

とした館内に95,000冊蔵書

が分類され、大きな窓に並列して

座り心地の良さそうな椅子が置かれ、多くの老若男女が鎮座し読書にふけておられた。館長にお話を伺うと、「図書館は人材を育成する空間」そのために居心地のいい空間を目指した。ということであった。本町としても今後居心地のいい空間作り」が必要ではないか。

### ③鳥栖・三養基西部環境施設組合

「ゴミ処理全般について」

平成16年から鳥栖市、上峰町、

みやき町のリサイクルプラザと溶

融資源化センターとして2つの施

設を運営管理されている。人吉球

磨クリーンプラザとの相違点とし

て、まず、最終埋め立て処分場

は無いということである。次に粗

大ゴミの対応として「畳・布団」

を裁断せずに持ち込める(但し、

搬入個体数は日に制限)というこ

とと、毎月第3日曜日に「もった



JA菊池キャトルブリーディングステーション

取り組み当初繁殖牛0頭から4,100頭までに増頭させてこられたが、近年肥育素牛の供給不足が発生し、年間に必要とする肥育素牛(黒毛和種)5,000頭を確保するためにキャトルブリーディングステーション(地域の子牛生産拠点、地域の総合的な肉用牛振興推進上の核となる施設)事業を取り組まれたという。その構想中に国の大型補助事業クラスター(高収益畜産体制構築

いなか市」という名称の家具・自転車のリサイクル市場を開催されているという点ではないだろうか。不法投棄として畳・布団類が本町でも問題となる。裁断して持ち込みしなければならぬとそのまま持ち込めるのでは、大きな差がある。本町でも不法投棄パトロールをされているが、「ゴミを出しやすい」工夫も必要ではないか。考察が必要とされる。



鳥栖三養基西部環境施設内(もったいなか市)



鳥栖三養基西部環境施設



金子牧場・搾乳ロボット

事業)がリンクしたということであった。また、クラスター事業のもう一つの目的である「後継者の育成」にも以前から経営塾事業に取り組まれておられ「日本で一番、後継者が多い地域である」と自負された言葉が印象的であった。

本町も28年度からクラスター事業の窓口として、取り組まれているが、もう一つの目的、後継者作りに球磨地域の先導者たる取り組みを願う。

日本一の議会広報誌を目指して  
広報特別委員会研修

11月16日、広報特別委員会（金山委員長）は、熊本市町村自治会館にて、熊本市町村議会広報研修会「広報誌クリニック」に参加した。「広報誌クリニック」とは、県下町村を4つのグループに分け各町村製作の議会広報誌を専門講師と共に互いに評価をし合い、レベルアップを図ろうと企画されたもので、本町の議会広報誌「ほおじろ」も他町村広報委員から①全体の編集方針②一般質問の掲載の仕方③挿入写真のポイント等、評価及び問題指摘を受け討論した。

2年に一度、議会広報誌の県選考会、全国選考会が開催される。本誌もこの研修会での指摘を生かし、より読み易く町民の方へ訴えていく議会広報誌を目指そうと委員全員、決意を新たにしました。



議会トピックス

錦中学校授業視察  
厚生文教経済常任委員会

町による英語検定受験料補助開始に伴い、11月30日錦中学校1年生の英語の授業を視察した。授業に対し熱心に取り組む姿勢が見られ、生徒で問題を出し合う場面はとても楽しそうに受け答えができていた。授業中は、ほぼ英語での会話であり、教科書の本読みはALTのチェン・ケーシー先生の後にリピートしたり電子黒板を使用したりと工夫されており、リスニングにも力を入れている様子が捉えられた。又、ノートも見せてもらったが、どの生徒もきれいな文字でしっかりと書かれていた。楽しく授業を受けながら英語力を身につけてほしいと願う。



一般質問  
町政の「ム」が聞きたい  
7人が登壇  
(要約掲載)

防災・危機管理とは

**池田** 地震など予想できない災害や台風など予想できる災害の対応は。  
**町長** 各自が自分の生命、財産は自分で守る自覚をもっていたら、最低3日分の衣類、食料の準備、備蓄をお願いしたいと思っている。

倒壊した家屋からの救出訓練や毛布と棒や竹を用いて簡易な担架をつくりけが人を運ぶ訓練を行う等、それぞれの役目を再認識していただく訓練が行われているが、実際の災害の現場を再現することはできない。

**池田** 毎年の防災訓練は組織表に基づいて実施されているが、本町の意味での訓練であると思われるか。  
**総務課** 熊本地震で昨年、今年と行っていないが、3年前の訓練では消防署東分署職員を講師として、

**池田** 木上地区は急傾斜地があり、土砂崩壊につながると家屋の倒壊や人命の危機につながる。そこで、熊本地震の後、現地の調査をされたか。

**地域整備課** 原則として土地の所有者が対応していただくことであるが、県に情報提供し、災害の未然防止に努めていきたいと考えている。



池田 秀晴 議員

**池田** 災害が発生した後の会議を開く場所の選定、第1、第2、第3の場所をトップが考えておられ

るケースが少ないという話であった。また、トップが公務で不在のときは誰が指示するのかも日ごろから訓練されたほうがよいこととであった。

**錦南部農道に鳥獣対策は**  
**池田** 交通事故対策の予防として高さ2.5mのワイヤメッシュなどの防護ネット設置の要望を振興局に。  
**農林振興課** 県が工事を行う区間については、防護ネット設置の要望を行う。なお、横山集落に1,000mの電気柵、寺村集落に1,400mのネットの有害鳥獣害対策を実施した。



人工呼吸・AED訓練 (婦人部)

**農林振興課** イノシシについては県内の状況等調査して検討したい。

**大平溪谷などのトイレ管理は**  
**池田** 大平溪谷にトイレが駐車場に2箇所あり、高柱川に木造のトイレがあったが、トイレの管理方法は。  
**企画観光課** 現在企画観光課職員で対応しているのですが、今後の掃除については委託についても検討できればと考えている。また、高柱川については撤去の方向で進めたい。

ふるさと納税の本来の趣旨とは



荒川 孝一 議員

れてはどうか。

企画観光課 ふるさと納税とお墓の見守りの連携については多くの自治体で既に取り組んでおり、ふるさと納税のふるさとを応援するという趣旨にもかない、リピーターにもなりうるという観点から現在、プロジェクトを立ち上げ協議されている。

荒川 過去に私はまだ本町がふるさと納税に着手していない時、始めてはどうかと提言させてもらった経緯がある。その後、利用しやすいシステムの提言等々し、その間、担当課でも工夫され、現在本町のふるさと納税も充実してきた感がある。そこでもう一点提言したい。本来の趣旨である「遠くふるさとを離れた方々からの納税」の意に則して、錦町をふるさと或いは御先祖の墓が錦町にある方々の為に墓掃除を返礼項目に取り入

荒川 調査してみると全国で119の自治体でふるさと納税・先祖供養サービスを実施している。地方の問題として人口減少があり、それに伴い空き家問題、墓守り不在の問題と繋がる。本町でもいわゆる墓じまい、改葬の申請が多くなっているのでは。  
住民福祉課 改葬許可申請については、例年2・3件ぐらいある。平成29年度はこれまで5件の申請



将来の墓守りは誰がする

があった。ほとんどの方が県外にお住まいの方で、住所地等で霊園など所持され、そこに遺骨を移すための申請となっている。  
荒川 全国的に返礼品目的のふるさと納税争奪戦が起きているが、本来の趣旨でもある錦町をふるさとという方々にとっても意味深い返礼を実施していくことも大事ではないか。前向きな検討を願う。

町民の声より 『部落』考察

荒川 人吉市で開催された部落解放・熊本県研究大会に参加して、この日本の根深い差別問題を改めて認識すると同時に、以前から町民の方から指摘されていた通称「部落」との同称誤解問題を町としても主導的に改称を呼びかけてみてはどうか。11分館上忠ヶ原では、自治会と名称を変えた。

教育振興課 本町で使われている通称「部落」。県に照会したところ、使用に際し、差別的な使用でない場合は支障はないという回答であった。この改称については、区長会等で検討させてもらいたい。

※他に町民の声として、「地域介護・福祉空間整備事業いわゆる地域の縁がわづくりにおいて、町の規定で目的が制限されていないか」を質疑した。

今後の財政調整基金積立の考えは

金山 先の町政座談会で本町の27年度の財政調整基金総額は約16億7千万円で、郡内の最高が約

さざり町の約80億、郡の平均が約28億7千万円という説明であった。28年度における本町の基金総額は、

総務課 年度間の財源調整を目的とした財政調整基金が約13億7千万円、特定目的基金が約4億2千万円で、計17億9千万円となっている。

金山 今後、少子高齢化による税の減収や扶助費、医療費の増加と災害等への財政需要に対応するために、行財政改革等により基金の

増額に努める考えと思うが、積立予定額は。

総務課 積立予定額について具体的な金額はない。ただ、公共施設整備及び社会福祉振興基金の積立が主になると思われる、毎年度の剰余金の一部を積立てる考えである。

金山 町長は日頃、財政調整基金積立の必要性について述べておられるが、町民の「貯金ばかりしないで、少しは使っては」という声があると思うが、改めて基金積立の所見を伺いたい。

町長 枯渇寸前だった基金が行財政改革等により、13億7千万円の基金積立額になったところだ。今後、固定資産税の減収や道路、上下水道等の公共施設改修費の増高に対応するために、基金積立の必要性については理解願いたい。ただ、町民の安全安心確保の要望事

業は実施している。今後も無駄を省き地域活性化を計るために投資すべきことは投資して行く考えだ。

ドローンの活用方法等について

金山 今日、ドローンは空撮始め災害や危険箇所或いは耕作放棄地や鳥獣被害地の確認、農薬散布等への活用が期待されている。本町でも購入しているが、その目的と活用における国の許可について。

総務課 災害対策用に町民の寄附を受け購入している。活用については航空法が適用され、飛行場所、高さ、時間帯、イベント会場等の飛行については、国交大臣の承認が必要である。

金山 操縦者の養成は。

総務課 総務課始め関係課職員の講習会受講を勧める。

金山 災害対策に関連して消防団員を検討しては。

総務課 検討し必要であれば考える。



広い活用が期待されるドローン



金山 民幸 議員

# 住宅リフォーム補助金交付を 複数回できないか？



右田 宣之 議員

**右田** 森本町政2期目のH25年度から目玉政策として実施している住宅リフォーム補助金制度は、町民の方はもちろん、町内業者の方々も大変評価している。そこで、発足以来5年間の申請件数、総事業費、補助金額はどうなっているか。

**地域整備課** 5年間の申請件数は262件、事業費が約3億4千万円、補助金額が4千237万円となっている。

**右田** 5年間で1件当たり事業費と補助金の平均額はどれくらいか。

**地域整備課** 5年間の平均では、1件当たり事業費が約129万円、

補助金が16万1千円となっている。

**右田** 住宅リフォーム補助事業の補助要綱を確認したいが。

**地域整備課** 対象工事費が20万円以上、補助率が20%で補助の上限が20万円となっている。従って、事業費が100万円を超えた部分については一律20万円の補助ということになる。

**右田** この事業は、今後も続けて行く考えか。

**地域整備課** 当初、補助制度を創設した時点では、H25年度～H28年度までの4年間としていたが、H29年3月に要綱改正しH30年度までとしたところである。

**右田** 現段階では、H30年度までは続けるということであるが、そこで、今回の質問のメインでもある補助金を複数回受けられるよう改正できないかということ。この件については、多数の方から要望も聞いているので是非検討された

い。それと、管内市町村の状況を把握しているか。

**地域整備課** 人吉球磨管内で1つの町を除いて全ての市町村で補助制度を実施している。回数については、あさぎり町と多良木町が複数回の申請が可能となっている。本町においても効果を検証するためアンケート調査を実施している中で、複数回の要望は数件あっている。経済効果も大きいので今後検討していく必要があると考える。

**右田** 補助金制度を発足された町長に複数回を含め制度改正に関する所見を伺いたい。

**町長** 30年度まで続行するということは、町長任期が30年度までであるため区切りをつけた。

**右田** この制度は好評であり経済効果も高いので、町長が在職中に是非

複数回申請を実現されたい。  
**町長** しつかりと考えていきたい。

※この他に、有形無形文化財の管理及び保存に関する質問も行った。

### 錦町住宅リフォーム補助金制度 についてのお知らせ

錦町では、地域経済の活性化と居住環境の向上を図るため、町内の施工業者を利用して、個人住宅のリフォームを行う場合に、その経費の一部を補助します。  
(期間は平成29年度から平成30年度までです。)

**○補助の対象となる人**

- ・町内に住民登録している人
- ・町税、使用料等を滞納していない世帯

**○対象となる住宅**

- ・町内に所有し、自らが居住している住宅  
(借家は対象外です。)

**○補助の対象となるリフォーム・補助金の額**

- ・町内の業者(個人の事業主も含まれます。)が施工するリフォームで20万円以上のものが対象となります。  
(対象となる工事は裏面に記載してあります。)
- ・工事費の2割が補助金として支払われます。  
(ただし、上限は20万円です。)
- ・町水道、下水道の区域内にあっては、町水道または下水道に接続することが必要です。

住宅リフォーム補助金制度の概要

# 錦大橋の開通計画は

**久保田** 錦大橋の開通はいつだろうかと地域住民は待ち望んでおられるが、計画は。

**地域整備課** 上部工の仮設工事は11月末現在、進捗率が96.2%で、工程表どおりで、既に発注済みの防護柵の設置工事についても、2月末での完成見通しとなっている。今後、上部工の舗装工事、道路部分との取付工事、照明器具設置工事の3件を年内に発注し、3月中旬の工事完成を予定している。その後、町及び県の竣工検査を経て3月末の開通に向け、事業を進め

ているところだ。又、開通式典について、担当課としては、3月末を考えている。

**久保田** 3月中旬完成予定で、3月末の開通予定ということの説明があったが、地域の方は、一日でも早い開通を願っておられる。次に、錦中生徒の通学路はいつから通学できるのか。

**教育振興課** 錦大橋の開通予定が平成29年度末という事なので、現在の送迎タクシーは今年度末をもって廃止し、木上地区の生徒については、新年度から錦大橋を利用した本来の通学路に戻る予定だ。

**久保田** 29年度末をもって送迎タクシーを廃止ということだが、年間どのくらいの予算か。

**教育振興課** 所要額として、約600万円程度である。

# 各集落公民館の空調施設に 対しての助成は

**久保田** 各集落公民館にて「いきいきサロン」「地域のえんがわ」が行われているが、冷暖房機設置の助成はできないか。

**健康保険課** 毎年10月前後、区長に次年度の各集落の改築及び改修について意向調査をしている。

**久保田** 改築等の申請をした場合、年に何ヶ所実施できるのか。

**健康保険課** 年度に3～4ヶ所の申請があっている。

**久保田** 錦町の集落数は78あり、その中で「いきいきサロン」をされている所が39集落、「えんがわ」が32集落で行われているが、私が要望したいのは、町独自

で支援ができないか。

**町長** 厳しい財政であるので、国及び県の補助事業を優先してやっているのですが、その点は理解してもらいたい。



久保田文男 議員



空調設備が望まれる公民館

# 国保税が高くて生活が厳しい！ どうなる県への移行問題

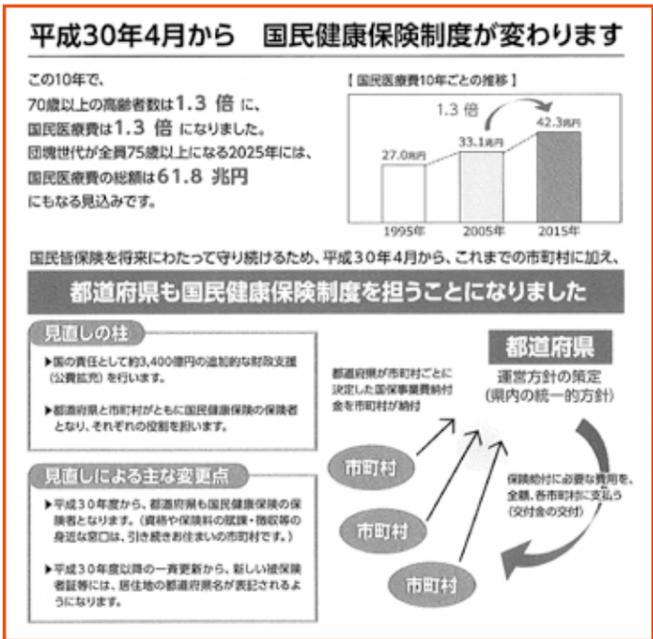


藤川 喜一 議員

**藤川** 平成28年度から国民健康保険税が上がり生活が厳しい。何とかならないのか。という町民の声が多くある。錦町の国保の現況、財政の状況について説明を求めます。  
**健康保険課** 錦町の国保加入率は約30%で推移。国保財政は平成24年度から慢性的な赤字が続いており、平成24年度1億4千万円あった財政調整基金は平成27年度末には1千万円台となり平成28年度から値上げしたところ。医療費の総額が伸び一人当りの保険税も上がっている。加入者の平均所得は平均47万7,380円（平成27

年度）、一人当りの平均国保税は10万4,630円となっている。  
**藤川** 所得の2割を国保の為に払うというのは重税感がある。他に介護保険・住民税・固定資産税など税金で生活が苦しいという声は切実だ。町長はマニフェスト（公約）に国保税が日本一安い町をめざすと掲げている。何か施策をしているのか。国保税を引き下げる手段として、法定外繰入れ（一般会計から特別会計に繰り入れる方法）があるが錦町はやっていない。多良木町は年間2,500万円繰り入れているが。

**町長** 国保特別会計は受益者負担が



国民健康保険制度の新しい概要

原則であり、法定外繰入れは考えていない。早めに健診を受けてもらい食事や運動のバランスなど医療費の抑制を町民にお願いしている。  
**藤川** 平成30年4月から実施の「国保の都道府県化問題」で保険税がどうなるのか不安がある。早く具体的に町民に示すべきではないか。（すでに熊日新聞（29・10・29付）は試算結果を報道している。）  
**健康保険課** 県が市町村の標準保険税率を1月に示す。1月の広報

紙に掲載するなどして周知して頂く予定。  
**前町長に対する「求償裁判」(H26・2・25判決)**  
**求償の状況は**  
**藤川** 前町長に対する「求償裁判」について、現在の「求償」の状況について説明を求めます。現在までの回収額・未収額はいくらか。  
**総務課** 12/8現在、回収額は1,198万円、未収額は5,803万3,828円である。  
**藤川** 裁判費用を含め現在まで要した町の拠出金はいくらか。  
**総務課** 前々副町長の裁判に伴う費用等を含めて6,114万446円となっている。  
**藤川** 判決確定後4年になるのに、未収額が5,800万円とは驚きである。拠出金は町民の血税で支出されている。未収で時効を迎えることは町民の一人として許せない。未収で時効を迎えた場合責任の所在はどうなるのか。  
**副町長** 引き続き前町長への求償手続きを弁護士と協議しながら進めていきたい。

# 町立小・中学校について

**高田** 平成29年全国学力学習状況調査の結果はどうだったか。

**教育長** 小学校においては、国語A・算数Aは全国平均を上回っている。国語B、算数Bは全国平均を下回った状況である。中学校については、国語、数学ともに全国平均を下回っているという、非常に厳しい状況であると認識しているところだ。

**高田** 小学校の成績は若干問題があるくらいだが、中学校の成績は全国、県、ましてや管内の各中学の平均よりも国語、数学両方とも

下回っているが、どのように考えているのか。

**教育長** 非常に厳しい状況である。そこで、生活や学習習慣等総合的な現状と課題について分析し改善策を見出すことが必要だと考えている。

**高田** 今回、全国学力学習調査の結果を人吉市は情報公開したけれど、



高田 孝徳 議員



中学校の教科書（国語・数学）

**高田** この件を町長はどう考えるか。  
**町長** 基本的には、教育長、校長会の考えを尊重するが、新聞等を見て、やはり成績が落ちてきているなどは感じている。今、教育委員会に話をしてるのは、しっかりした原因を探して、それに対応してくれ

どのような考えで開示したのか。  
**教育長** 人吉市の教育長の新聞での答弁によると、住民の子どもや学校に対する関心が高まり、改善や充実へ共に取り組んでもらうきっかけになればということ、教育委員会、校長会等、十分検討した上でホームページの公表になったと聞いている。  
**高田** 本町でもホームページ等で公表する考えはあるのか。  
**教育長** 今後説明責任等も十分考え、教育委員会と校長会で検討して、前向きに考えていきたいと思っている。

るように言っている。公表については前向きに検討していくという話なので、是非そのように進むように話をしていきたい。  
**高田** 来年は本町も人吉市同様に全国学力学習状況調査結果をホームページ等に公表してもらうことを切に要望したい。又、町長も言っているように、ここ数年で教育に対して事業費レベルで約9億円前後の予算を使っているとのことなので、学校、教育委員会、それに保護者、地域住民を含めた体制で何とか人吉球磨管内の平均レベルを上回るような成績を残してもらいたい。今後、私も来年の調査結果がよい方向に進むことを大いに期待しながら見守っていきたく思う。最後に、いろいろな方を駆使してでも成績の向上を心から願いたい。

# 議会のうごき

## 10月

4日	・全員協議会 ・熊本県町村議会議員研修会	18日	・球磨郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会
6日	・定例郡議長会	19日	・人吉農芸学院運動会
7日	・錦こども園、サン保育園、福島保育園、木上ひかり保育園運動会	21日	・球磨・人吉文化協会交流会
11日	・例月出納検査（～12日） ・広報特別委員会	24日	・球商・球磨中央百貨店（～22日）
15日	・錦町民体育祭（雨天中止）	25日	・広報特別委員会
17日	・広報特別委員会	26日	・厚生文教経済常任委員視察研修（～26日）
		30日	・森林・林業・林産業活性化九州大会
		31日	・全員協議会 ・全国町村監査委員研修会（～2日）

## 11月

2日	・熊本県立球磨中央高等学校開校記念式典	19日	・錦町文化祭
4日	・錦町ふるさと祭り（～5日）	20日	・定例郡議長会
6日	・後期高齢者医療広域連合議会定例会	21日	・地方自治施行70周年記念式典
9日	・総務建設常任委員視察研修（～10日）	21日	・熊本県選出国會議員要望
14日	・例月出納検査及び定期監査（～17日）	22日	・第61回議長全国大会
16日	・平成29年度町村議会広報研修会	24日	・人吉球磨広域行政組合議会定例会
17日	・熊本県立南稜高等学校開校記念式典		

## 12月

1日	・全員協議会 ・人吉下球磨消防組合議会定例会	17日	・球磨一周駅伝大会
3日	・球磨人吉消防ラッパ吹奏競技大会	20日	・例月出納検査（～21日）
5日	・議会運営委員会 ・あさぎり薬草収穫祭	22日	・定例郡議長会 ・事務局職員合同会議
12日	・平成29年第4回定例会（～15日）		・人吉球磨広域行政組合議会定例会

## 生の議会傍聴を!!

「議会だより」は法定の年4回開催される定例議会及び限定された臨時議会と研修や式典行事等の議会活動を皆様に報告することにより、議会へのご理解と町の発展の意見を頂くための架け橋として昭和62年に第一号が発行され30年を経て今日に至っております。

議会は町長が提案する事務事業に関係する予算及び条例案の審議・決定や一般質問等を行い町民の要望等を町政に反映させたりする制度になっております。

議会だよりはそれらの概要内容ですので、地方自治の主人公である皆さん是非議会傍聴においていただき、町づくりにおける議会と町長をトップとする執行部との熱き思いに触れられては如何でしょうか。

又、「議会だより」に対しますご意見ご要望をお聞かせ下さい。

(議会広報特別委員会)



## 軌跡

平成三十年一月元旦、素晴らしい好天氣に恵まれた。まずは近くの、平野神社に参拝し今年一年の無事を祈る。次に菩提寺の長安寺へ向かう。亡父母、御先祖様に手を合せ、日頃の無沙汰を詫言ながら、今年も色々とお願いはかりを語りかける。御仏も、さぞや呆れておられるだろうと思うのだが語らずにはいられない。

次は木上加茂神社である。神社総代の皆様の御出向かえの中、新年の挨拶を交わし、御鈴を鳴らしてかしわ手を打つ。家内安全、商売繁盛を願い、何がおこるかかわからぬ世なれど、世の安寧を願い頭を下げる。破魔矢を手に取り、孫達がつまづき家路につく。

我家恒例の新年会が始まった。総勢16名、お年玉の出費は少々胸も痛むが、9人の孫が揃うこの日は、私共にとって年に一度の至福の時である。就職と進学、最年長孫二人に大きな大きな声援を送りたい。

さて、四年振りの議会広報委員会、編集会議に臨み、議会と執行部との真剣なやりとり。そのときどきの、それぞれの思いを感じながら原稿を更生する。町民の皆様、その思いが届くようにと心から念じつつ……。今年も一年間、どうぞよろしくお願致します。

(文責 土肥 俊一)

### 「広報特別委員会」

委員長 金山 民幸  
副委員長 池田 秀晴

委員 荒川 孝一  
土肥 俊一

議長 市田 昇  
柳瀬みどり